

ベクティビックス+mFOLFOX6療法

FN 低:催吐性 中

診断名:RAS 遺伝子野生型の切除不能な進行・再発大腸癌

○投与スケジュール (1 コース 28 日)

Day1、15(点滴): <u>ベクティビックス</u>	div	6 mg/kg
Day1、15(点滴): <u>エルプラット(L-OHP)</u>	div	85 mg/m ²
Day1、15(点滴): <u>レボホリナート(I-LV)</u>	div	200 mg/m ²
Day1、15(点滴): <u>フルオロウラシル</u>	div	400 mg/m ²
Day1~2、15~16(持続静注): <u>フルオロウラシル</u> continuous	civ	2400 mg/m ² (全体量)

Day2~Day3、Day16~Day17(内服):デカドロン8mg 分2朝・昼の内服

○注意事項

★エルプラット注:アレルギー発現注意!! 累積投与量が401mg/m²以上 or 半年以上休薬あり再投与する場合は重篤なアレルギー反応を惹起する可能性あり。再投与の意義がリスクを上回ると考えられる場合は、前投薬の強化などを考慮する。

<強化例>前投薬①にガスター注 20mg+ポララミン注 5mg を追加

・ベクティビックスによる有害事象

ざ瘡 65%、皮膚乾燥 60%、発疹 55%、掻痒 42%、爪囲炎 35%、低マグネシウム血症 28%、疲労 26%、口内炎 25%、食欲不振 20%、インフュージョンリアクション 3.3%(Grade3 以上 0.5%)
頻度が少ないが注意: 間質性肺疾患、下痢

○ベクティビックス減量基準

<重度(Grade 3以上)の皮膚障害発現時の用量調節の目安>

皮膚障害発現時の本剤の投与量	本剤の投与	投与延期後の状態	本剤の用量調節
6 mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade 2以下に回復 ^{注)}	6 mg/kg又は4.8 mg/kg
4.8 mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade 2以下に回復 ^{注)}	3.6 mg/kg
3.6 mg/kg	投与中止		

注) 6週間以内にGrade 2以下に回復しなかった場合は、本剤の投与を中止する。

アービタックス、ベクティビックスの 皮膚障害を軽減する薬セット

★予防のミノマイシンについては、主治医の判断で処方をお願いします。また、処方される場合は2週間程度の処方とし、定期的な採血と副作用のチェックをお願いします。

＜ 予防または治療に使用する薬 ＞

Rp1. ミノマイシン錠 又は ミノマイシンカプセル
1回 50 mg 1日 2回 朝夕食後(治療当日より)

1回 14日分程度処方し、定期的な副作用チェックをお願いします。

[相互作用]: 金属カチオン(Mg, Ca, Al, Fe 等)と同時服用した場合、キレート形成しミノマイシンの薬効が低下します。2時間程度ずらして服用すれば大丈夫です。同時服用薬剤にご注意をお願いします。

Rp2. ヘパリン類似物質クリーム 又は
ビーソフテンローション
1日 2～数回 乾燥しているところ(治療当日より)

＜ 症状が出たら使用する薬 ＞

Rp3. ロコイド軟膏(マイルド)
1日 2回 朝夕 顔

Rp4. マイザー軟膏(ベリーストロング)
1日 2回 朝夕 顔以外